



「電波有効利用政策研究会 最終報告書（案）」に対する意見

○経済的価値を勘案した電波利用料の料額算定のあり方について

電波利用料の見直しにあたり、新たな経済的価値に基づき電波を占有する帯域幅や使用地域の範囲など量的要素を勘案することとしていますが、気象レーダーなど技術的に広い帯域幅を使用し大きな空中線電力を必要とする無線システムについては、負担額の高騰が予想されます。

電気事業で保有している気象レーダーは、落雷を事前に予測する等、電力の安定供給を確保するため有効に活用しているものであり、また無線以外のシステムでの代替手段がありません。このような無線システムについては、利用料の負担額増とならないよう要望いたします。

稼働中の無線システムは現在の電波利用料を前提に構築したものであり、電波利用料負担の公平性を確保していく上では、不公平感の高い無線システムの利用料を下げることによって成し遂げていくべきで、他の無線システムの利用料を上げることは極力回避していただくよう要望いたします。

以上